

地域包括ケアに関する意見交換について

- 地域ケア会議は、地域包括支援センター等が把握した地域課題への対応等について、地域の人々と共有・検討しながら、地域づくり、地域の資源開発、政策形成等につなげていく協議の場であり、日常生活圏域レベルで最も多く開催されている。
- 日常生活圏域レベルの会議から抽出された地域課題について、区レベルにおいては、年に1、2回程度、区地域包括支援センター運営協議会の開催に合わせるなどして地域ケア会議を開催している。その中で市レベルにおいても共通すると考えられることについて、本協議会において各委員の意見をお聴きし、課題等への対応に向けての参考とさせていただきます。

【意見交換のテーマ】

8050問題を抱える世帯を支援するに当たり、各団体が地域包括支援センターと連携できること

【8050問題】

- ・ 80代の親が50代の子どもの生活を支えるために、経済的ないし精神的に負担を負う事例が増えているという社会問題
 - ・ 高齢者のみでなく、支えとなるべき家族にも支援が必要
- ・ 8050問題について、地域包括支援センター（以下「センター」という。）や地域支えあい課への相談件数・対応件数が年々増加していることから、区地域ケア会議では「8050問題を抱える家族に対して、地域でできる支援」をテーマとし、「どのような取組・連携を行っていく必要があるか」について協議を行っている。
 - ・ 区地域ケア会議では、出席者それぞれの見地から、8050問題を抱える世帯との関わりの現状や気づきについて意見交換を行っている。
 - ・ 協議の結果を踏まえ、今後の具体策として以下の意見が出された。
 - ① 地域の方からの気づきや情報は、支援者にとってとても重要である。支援者と地域の方々との良い関係づくりを継続する。
 - ② 対象者の現在の状況に至るまでの背景を受け止め、支援者も地域も辛抱強く、途切れさせることなくつながっていく。
 - ③ 地域単位での「地域ケア会議」を開催・活用し、地域と専門多職種が連携を広げ、深めていくことを継続する。
 - ・ これらを踏まえ、この度は以下の視点から御意見をいただきたい。
 - (1) 8050問題を抱える世帯への支援については、各専門職等とセンターの連携が不可欠である。については、各団体において、センターと連携してできることを御教示いただきたい。
 - (2) また、連携に当たってセンターに期待すること。